

## 鴨下環境大臣談話

交渉は難航したが、2009年の合意を目指し、全ての国が参加する次期枠組み交渉の場が立ち上がり、バリ・ロードマップが採択されたことを大変うれしく思う。

今回、日本は独自の決定案を早い段階で提案するなど、積極的に対応し、バリ・ロードマップの合意に貢献した。

私も、合意形成に貢献するべく、米・中・EUなど主要国とのバイ会談を実施し、次期枠組みづくりの交渉の場の立ち上げを最優先に、積極的に意見交換してきた。来年のG8サミットにおいても、バリ・ロードマップを着実に実施し、国際交渉の促進に積極的な役割を果たしていきたい。

今回、バリで交渉が立ち上がり、いよいよ来年からは本格的な中身の議論となる。私としては、次期枠組みにおける我が国の削減目標やバリで合意された排出抑制、適応、資金、技術などの今後の交渉の主要課題の検討を加速化する所存である。